

好学尚武

市立浦和高等学校野球部通信
発行者 鈴木 諭

発行日 R2. 8. 16
発行ナンバー 784号
(吉川主将の代・・・79号)

今シーズン (春～夏) を振り返る・・・16試合 11勝 5敗

	日付	相手校	スコア	勝敗
1	7-19	盈進東野	16-0	○
2	〃	〃	15-9	○
3	7-24	南稜	6-1	○
4	〃	王子総合	4-3	○
5	7-28	叡明	3-7	●
6	7-30	山村国際	0-10	●
7	8-1	越谷南	12-6	○
8	〃	〃	15-8	○
9	8-2	草加西	5-4	○
10	〃	〃	1-3	●
11	8-3	大宮東	3-1	○
12	〃	熊谷商業	13×-12	○
13	8-5	大宮東	2-8	●
14	8-10	浦和東	3-0	○
15	8-13	細田学園	1-0	○
16	8-15	浦和麗明	5-10 (タイブレーク)	●
17				
18				
19				
20				

赤字は公式戦です

吉川主将の代 総括

コロナウイルス感染症対策のため、基本、埼玉県
の公立高校野球部は3か月以上、活動制限のあ
る(活動できない)日々を過ごしました。

その分、コロナ休校明け～夏の代替大会開始ま
での期間・・・この期間は各校指導者の「方針」が
強く出るものになったと思います。私自身もこう
いう事態である以上(指導者として)ブレない部
分を持たなければならないと強く感じました。

- 「負けることを」野球→受験勉強の区切りと
した方が良く。
- 夏の大会は学年関係なく「3度」しかないも
の。今大会は1・2年生にとってもそのうち
の1つ。夏は(学年関係なく)チームのベス
トで戦うという方針。
- 市立浦和高校野球部は続く・・・(やる気のない
態度等で)新チームメンバーに悪影響を及ぼ
す者は引退してもらいたい。

こんな感じのミーティングを行いました。
その結果・・・女子選手2名、女子マネージャー1
名を含む18名の3年生部員全員が、「敗退」とい
う「区切り」までしっかり活動するという道を選
んでくれました。今シーズンの成果はそれで十分
というのが私の結論です。

今号をもって吉川主将の代の通信(706号～
784号)を終了します。ありがとうございました。